

第1回 国道415号県境部に関する有識者委員会 議事要旨

□開催日時

令和6年7月17日（水） 15：30～17：45

□場所（Web併用）

富山県防災危機管理センター 2F中会議室

□委員名簿

氏名	所属・役職	出席
かわむら くにお 川村 國夫 (委員長)	金沢工業大学 地域防災環境科学研究所 教授	○
はら たかし 原 隆史	富山大学 都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 教授	○
ふるや げん 古谷 元	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授	
ほしかわ けいすけ 星川 圭介	富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 教授	○
はやし きよみ 林 紀代美	金沢大学 人間社会研究域地域創造学系 准教授	○
ふじう まこと 藤生 慎	金沢大学 融合研究域 融合科学系 准教授	○
かたぎり ゆきこ 片桐 由希子	金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 准教授	○
ましも ひでと 真下 英人	(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長	○

(敬称略、順不同)

□議事概要（各委員からの主な意見）

(委員)

- ・ 県境部の地すべり地帯は令和6年能登半島地震の前後で変状があったか(事務局)
- ・ 当該区間の現道部では大きな被災は確認されていない
- ・ 当該地域として変状があったかに関しては、地震前後の資料により確認中である

(委員)

- ・ 今回の検討区間は、広域交通に加え、沿道集落の維持・活性化効果も高いため、沿道集落への意見聴取は丁寧に行ってはどうか(事務局)
- ・ 検討範囲に隣接する集落を含む5集落に対し、アンケート票を全戸配布する
- ・ 沿道集落の代表者や関係機関へのヒアリングも実施する

(委員)

- ・ アンケートの設問が「重視すべき項目」という抽象的な内容なので、調査票だけではなく、背景的な説明が必要ではないか(事務局)
- ・ アンケート票、ポスター、チラシ等にアンケート目的を明示する
- ・ アンケート票には、課題、政策目標、比較案をまとめた資料を添付する

□結論

- ・ 政策目標(案)、ルート帯(案)の設定および意見聴取方法(案)については、妥当との意見をいただいた